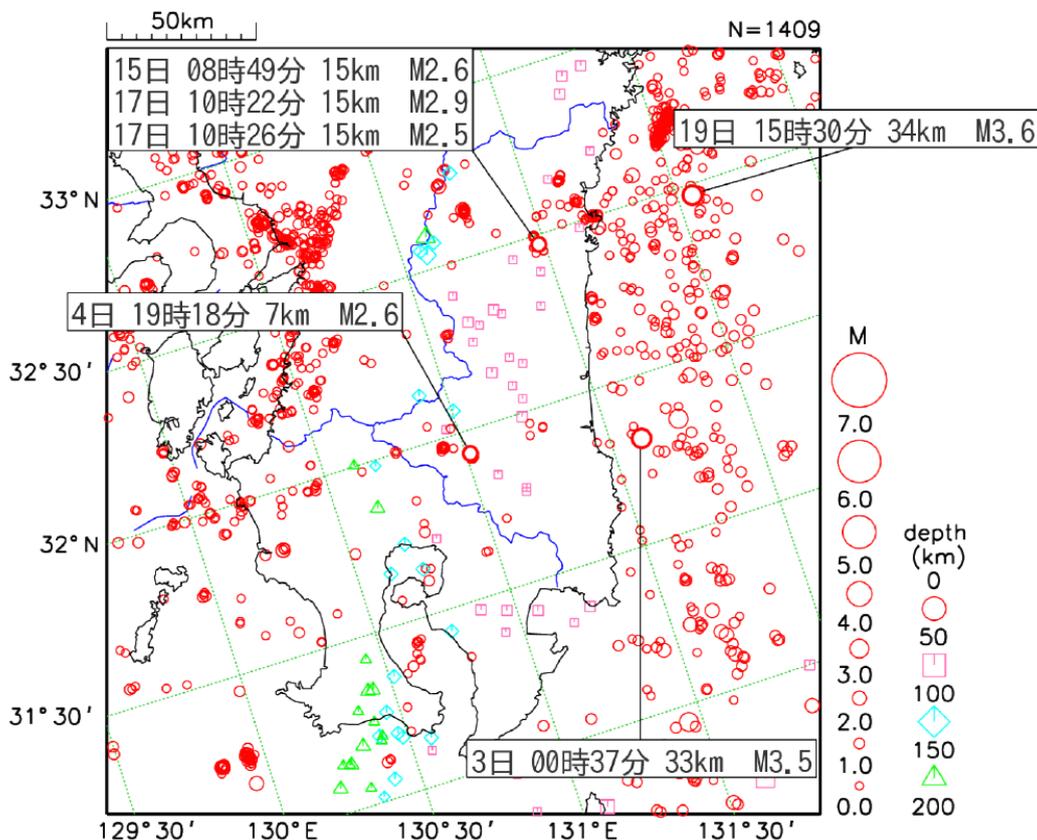


宮崎県の地震活動概況（2023年1月）

令和5年2月9日
宮崎地方気象台

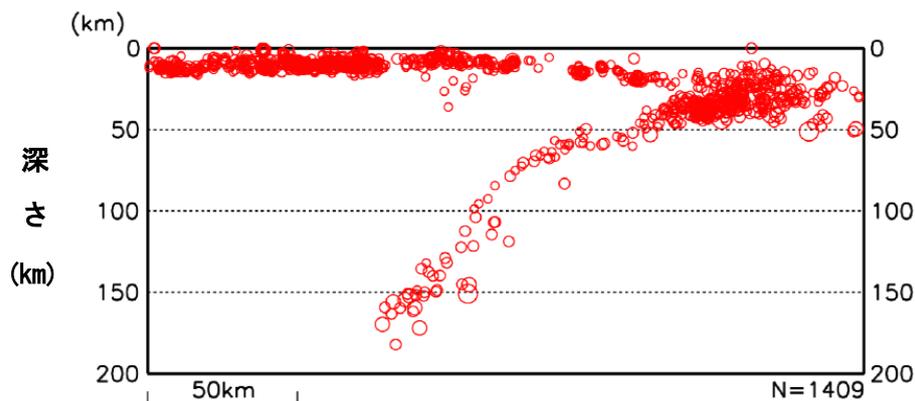
【地震活動の概要】

1月に宮崎県内の震度観測点で震度1以上を観測した地震は6回（2022年12月は7回）でした。



震央分布図（2023年1月1日～31日、M0.0以上、深さ200km以浅）

地震の規模（マグニチュードM）は記号の大きさで、震源の深さを記号と色で示しています。宮崎県で震度1以上を観測した地震に吹き出しをつけています。



断面図（震央分布図の投影、深さ200km以浅）

国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

3日 日向灘を震源とする地震

3日 00時37分に発生した M3.5 の地震（深さ 33km）により、宮崎県宮崎市で震度 2 を観測したほか、西都市、川南町、国富町、新富町、高鍋町で震度 1 を観測しました（図 1）。

今回の地震の震源付近（図 3 領域 b）は、日頃から地震活動が見られる領域で、2022 年 12 月 18 日に発生した M5.4 の地震（深さ 34km、最大震度 4）により、宮崎県の宮崎市、日南市で震度 4 を観測したほか、九州、中国、四国地方で震度 3～1 を観測しました。

また、1996 年 12 月 3 日には M6.7 の地震（深さ 38km、最大震度 5 弱）が発生し、宮崎市で震度 5 弱を観測しました。この地震により県内では日南市油津で 12cm、日向市細島で 7 cm の津波を観測しました（図 2～4）。

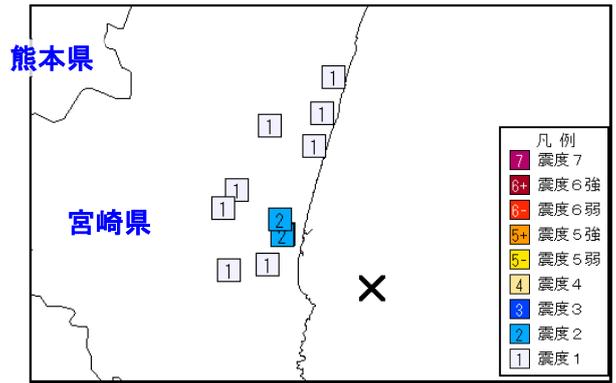


図 1 震度分布図 (観測点別、×:震央)

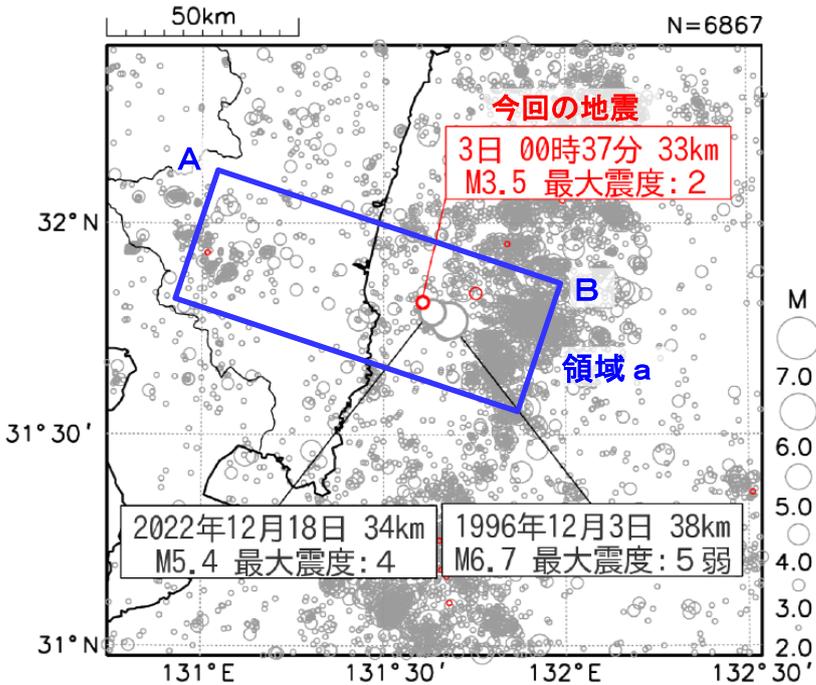


図 2 震央分布図

(1994 年 10 月 1 日～2023 年 1 月 31 日、深さ 0～100km、M≥2.0)

※2023 年 1 月以降の地震を赤色で表示

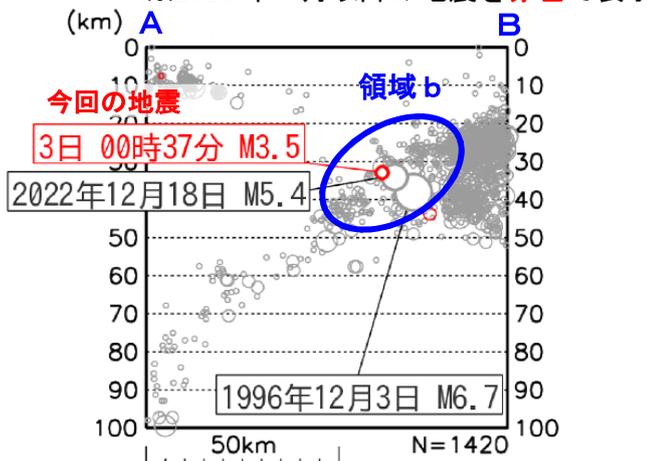


図 3 図 2 領域 a 内の断面図 (A-B 投影)

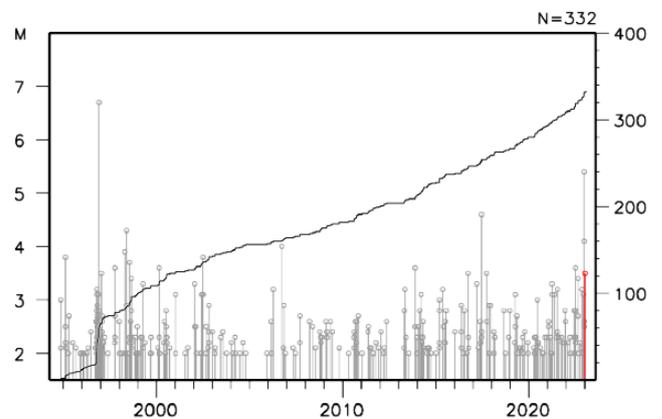


図 4 図 3 領域 b 内の地震活動経過図および回数積算図

4日 宮崎県南部山沿いを震源とする地震

4日19時18分に発生したM2.6の地震(深さ7km)により、宮崎県小林市で震度2を観測しました(図5)。

今回の地震の震源付近(図6領域a)では、日頃から地震活動がみられる領域で、2008年5月11日にはM4.1の地震(深さ8km、最大震度4)が発生し、県内では小林市で震度4を観測しました(図6～7)。

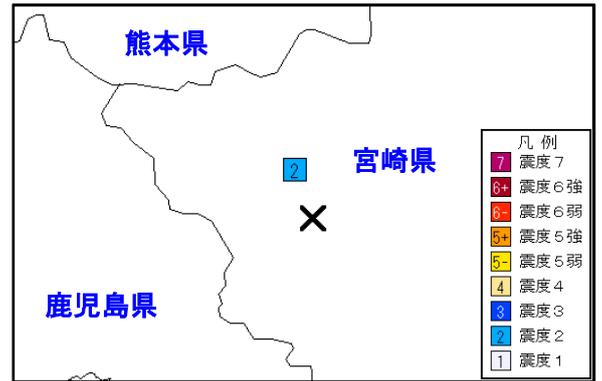


図5 震度分布図 (観測点別、×:震央)

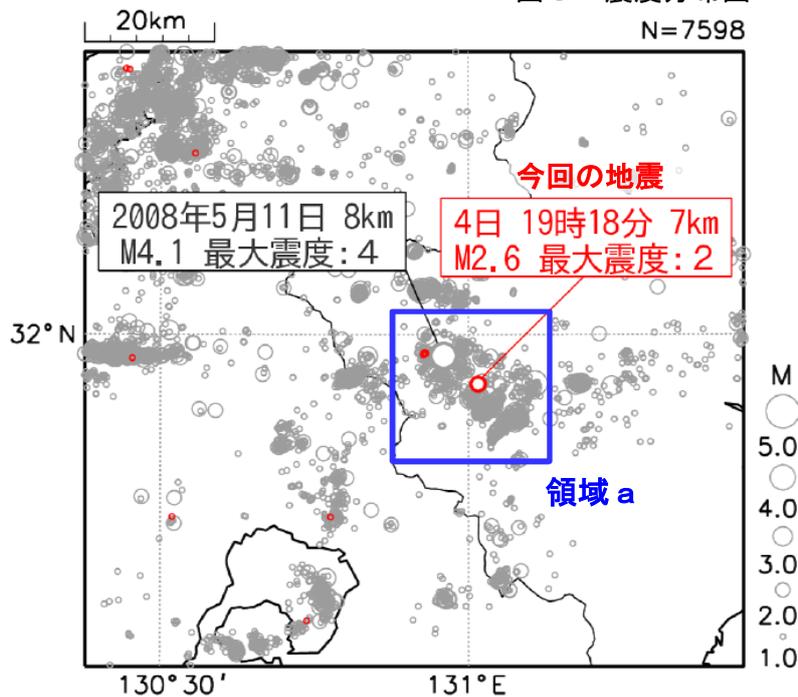


図6 震央分布図
(2000年10月1日～2023年1月31日、
深さ0～20km、M≥1.0)
※2023年1月以降の地震を赤色で表示

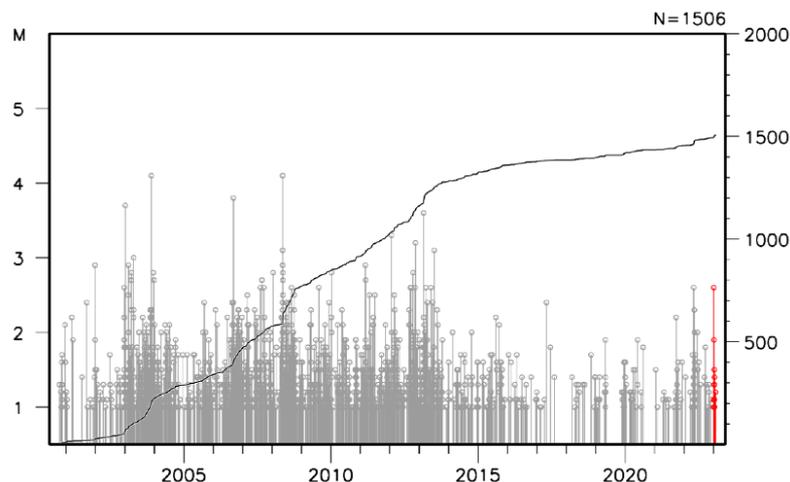


図7 図6領域a内の地震活動経過図
および回数積算図

15日、17日 宮崎県北部山沿いを震源とする地震

15日08時49分に発生したM2.6の地震(深さ15km)により、宮崎県門川町で震度1を観測しました。また、ほぼ同じ場所で17日10時22分に発生したM2.9の地震(深さ15km)により、宮崎県の延岡市、川南町、都農町、門川町、高千穂町で震度1を、同日10時26分に発生したM2.5の地震(深さ15km)により、宮崎県門川町で震度1を観測しました(図8)。

今回の地震の震源付近(図9領域a)は、日頃から地震活動がみられる領域で、最近では2022年12月20日にM3.3の地震(深さ15km、最大震度1)が発生し、県内では延岡市、西都市、川南町、都農町、門川町、高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町、美郷町、諸塚村で震度1を観測しました(図9~10)。

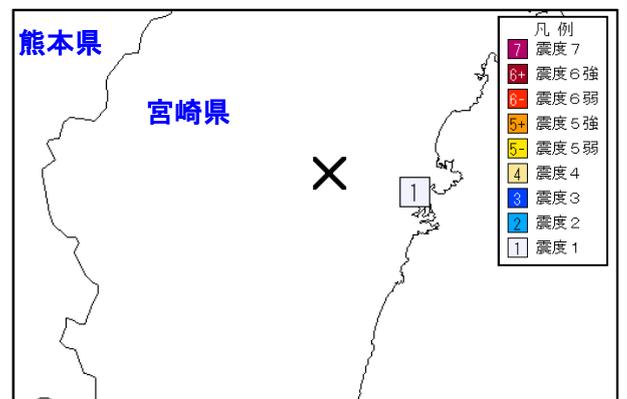
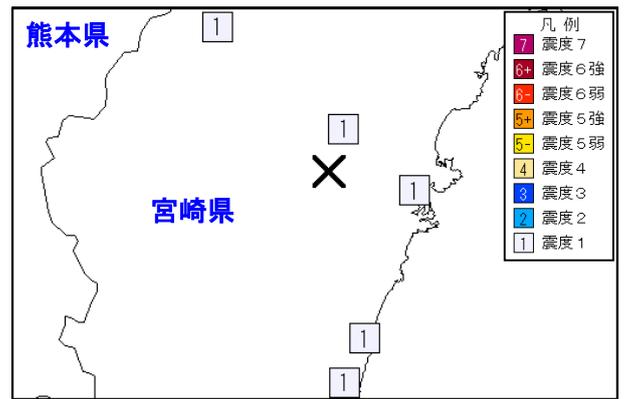
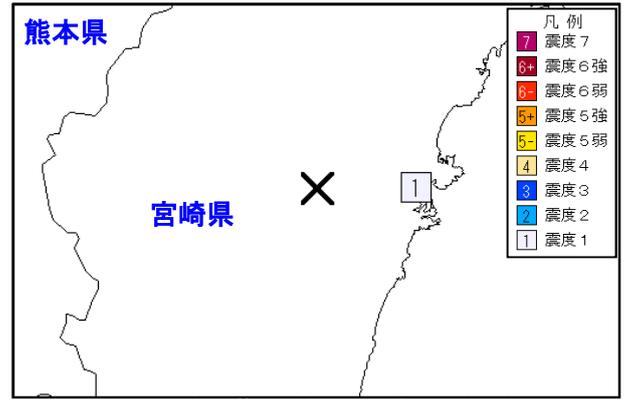


図8 震度分布図 (観測点別、×:震央)

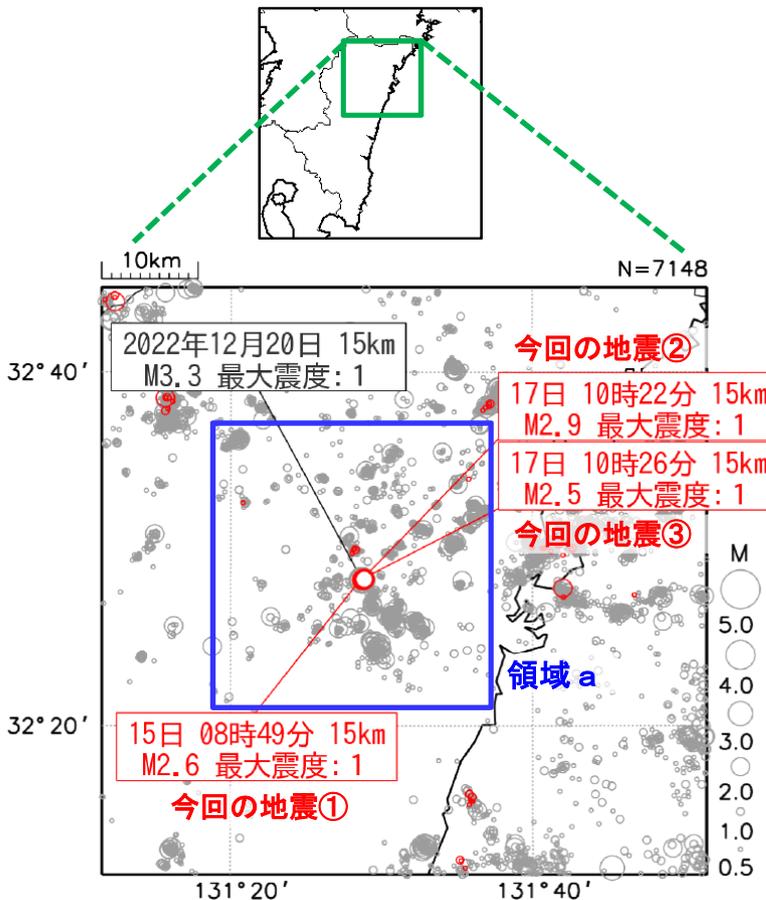


図9 震央分布図

(2000年10月1日~2023年1月31日、深さ0~30km、M≥0.5)

※2023年1月以降の地震を赤色で表示

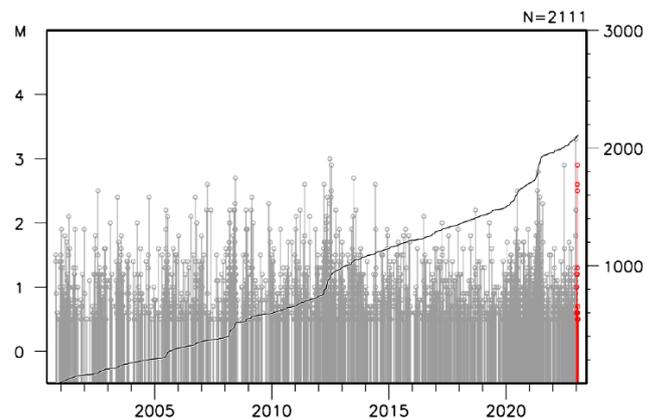


図10 図9領域a内の地震活動経過図および回数積算図

19日 日向灘を震源とする地震

19日 15時30分に発生したM3.6の地震(深さ34km)により、宮崎県の延岡市、日向市、都農町、門川町、美郷町、大分県佐伯市で震度1を観測しました(図11)。

今回の地震の震源付近(図13領域b)は、日頃から地震活動がみられる領域で、2022年1月22日にはM6.6の地震(深さ45km、最大震度5強)が発生し、県内では延岡市、高千穂町で震度5強を観測しました(図12~14)。

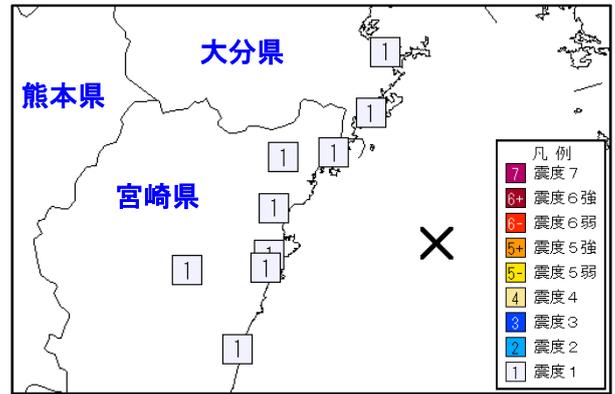


図11 震度分布図 (観測点別、×:震央)

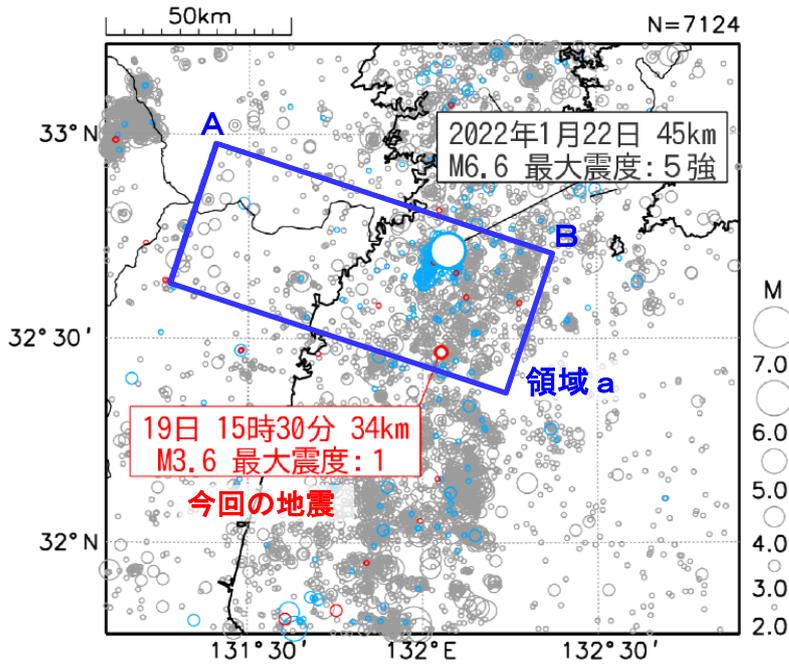


図12 震央分布図

(1997年10月1日~2023年1月31日、深さ0~30km、M≥2.0)

※1997年10月1日以降の地震を灰色で
2022年1月22日以降の地震を薄青色で
2023年1月以降の地震を赤色で表示

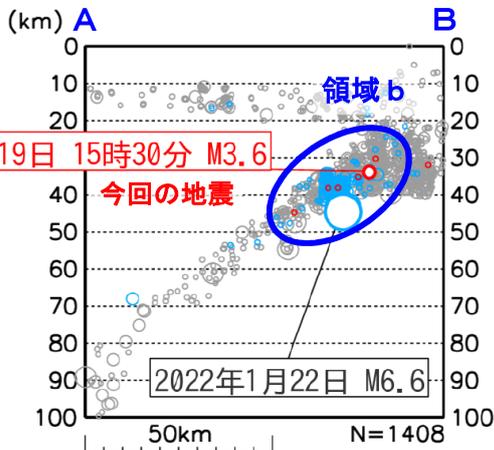


図13 図12領域a内の断面図 (A-B投影)

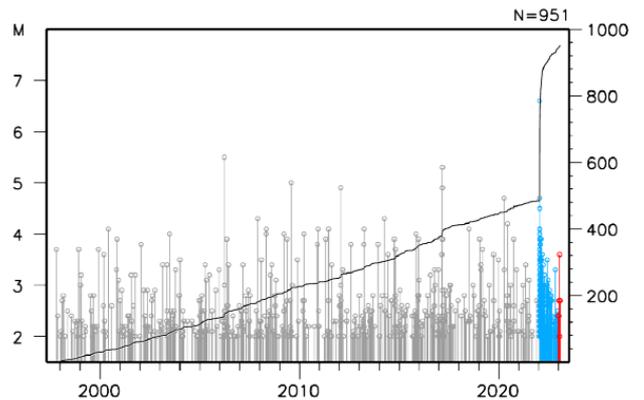


図14 図13領域b内の地震活動経過図および回数積算図

宮崎県内で震度1以上を観測した地震の表（1月1日～31日）

震源時（年月日時分） 各地の震度	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード*
2023年01月03日00時37分 震度 2：宮崎市霧島, 宮崎市松橋*, 宮崎市橘通東* 震度 1：西都市上の宮*, 高鍋町上江*, 新富町上富田, 川南町川南*, 宮崎市田野町体育館* 宮崎市高岡町内山*, 宮崎市清武町船引*, 国富町本庄*	日向灘	31° 48.8' N	131° 36.4' E	33km	M3.5
2023年01月04日19時18分 震度 2：小林市真方	宮崎県南部山沿い	31° 55.8' N	131° 00.9' E	7km	M2.6
2023年01月15日08時49分 震度 1：門川町平城東*	宮崎県北部山沿い	31° 28.2' N	131° 28.7' E	15km	M2.6
2023年01月17日10時22分 震度 1：延岡市北方町卯*, 川南町川南*, 宮崎都農町役場*, 門川町平城東*, 高千穂町三田井	宮崎県北部山沿い	32° 28.2' N	131° 28.8' E	15km	M2.9
2023年01月17日10時26分 震度 1：門川町平城東*	宮崎県北部山沿い	32° 28.3' N	131° 28.8' E	15km	M2.5
2023年01月19日15時30分 震度 1：延岡市天神小路, 延岡市北川町川内名白石*, 延岡市北浦町古江* 日向市大王谷運動公園, 宮崎都農町役場*, 門川町平城東*, 宮崎美郷町田代*	日向灘	32° 28.0' N	132° 03.1' E	34km	M3.6

使用した震源要素等は暫定値であり、後日修正することがあります。

*は地方公共団体または、国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点です。

地震に関する防災気象情報の強化について

令和5年2月1日(水)12時から、緊急地震速報の発表基準に長周期地震動階級を追加するとともに、長周期地震動に関する観測情報の発表を迅速化しました。また同時に、推計震度分布図を高解像度化・高精度化しました。

長周期地震動階級の基準による緊急地震速報が発表されても、伝え方や見聞きした際にとるべき行動は変わりませんので、慌てずに身の安全を守ってください。

また、これまでは緊急地震速報(警報)のうち、震度6弱以上が予想される場合を特別警報に位置付けておりましたが、これに加え、長周期地震動階級4が予想される場合も特別警報に位置付けます。

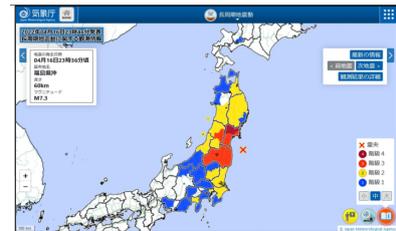
▶ 長周期地震動に対応した防災気象情報の強化

長周期地震動による被害の可能性がある場合も緊急地震速報を発表するよう、予想される長周期地震動階級を、緊急地震速報の発表基準に新たに追加しました。

また、オンラインによる配信を開始し、これまでは地震発生から20～30分程度を要していた観測情報の発表を迅速化し、地震発生から10分程度で発表します。

緊急地震速報(警報)の発表基準

発表基準	震度5弱以上を予想した場合 + (または) 長周期地震動階級3以上を予想した場合
対象地域	震度4以上を予想した地域 + (または) 長周期地震動階級3以上を予想した地域

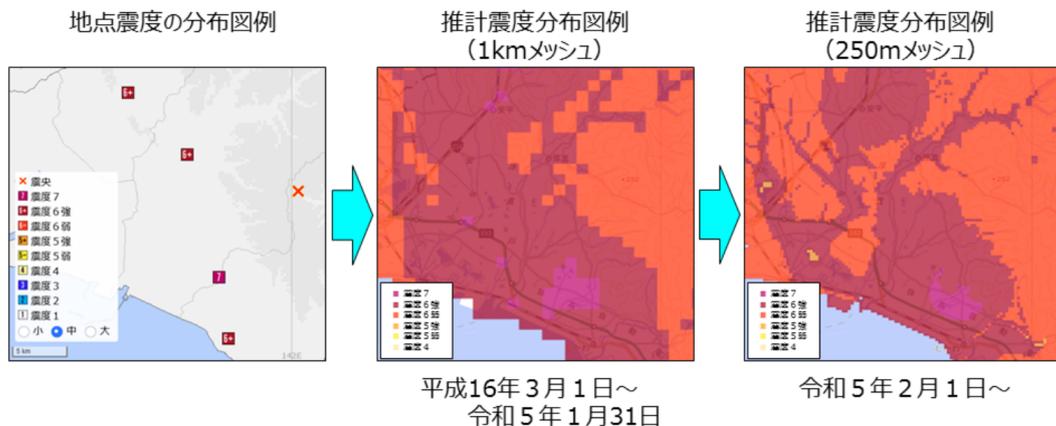


リニューアル後の長周期地震動観測情報ページ

▶ 推計震度分布図の高解像度化・高精度化

震度5弱以上の地震が発生した場合に、気象庁では、震度観測点のない地域を含む震度分布を面的に推計し、推計震度分布図として提供していますが、使用する地盤情報を1kmメッシュから250mメッシュに変更して高解像度化しました。

また、緊急地震速報の震度予測技術を用いることにより、停電等で震度データが入手できない観測点があった場合も高い精度の推計震度分布図を作成・提供します。



詳細については、気象庁HP(報道発表)をご覧ください。

○長周期地震動に対応した防災気象情報の強化について(令和4年10月26日)

https://www.jma.go.jp/jma/press/2210/26b/20221026_lpgm_start.html

○推計震度分布図の高解像度化・高精度化について(令和4年12月16日)

https://www.jma.go.jp/jma/press/2212/16a/20221216_suikei_250m.html